

社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

<p>代表者氏名 (ふりがな)</p>	<p>榎本 博明 (えのもと ひろあき)</p>	<p>所属</p>	<p>名城大学</p>
<p>研究集会等名称</p>	<p>社団法人日本心理学会自己心理学研究会</p>		
<p>成果概要</p>	<p>1) 参加人数(会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 38名(うち認定心理士 0名) 非会員 2名(うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p><実施内容・成果> 自己心理学研究会員が中心となって実施した内容・成果を以下に報告する。</p> <p>I. 自己心理学関連のワークショップ・シンポジウム 日本心理学会第75回大会(2011年9月15日～17日・日本大学)にて3件 (1)「大学生の友人関係とキャリア発達」 (2)「コーチング心理学の理論と実践——QOLを目指すコミュニケーション技法と心理アセスメントについて——」 (3)「自己心理学における文化の問題(9)」</p> <p>II. 書籍刊行 ・堀正(監修・監訳)・自己心理学研究会(訳)(2011). コーチング心理学ハンドブック 金子書房</p> <p>III. 定例会合の開催 ・2011年8月25日～27日(静岡県伊東市) ・2012年3月17日～19日(神奈川県湯河原町)</p> <p>IV. 研究会機関紙『自己心理学 第5巻』の発行 執筆者(かな順): 伊田勝憲(北海道教育大学)・梶原恵子(九州保健福祉大学)・仲川清隆(埼玉学園大学)・古澤照幸(埼玉学園大学)・吉武重徳(九州保健福祉大学)</p> <p><将来計画> 今年度と同様の内容・成果を実施予定である。</p>		